

23/8/20 名古屋城 千田

許可のない写真撮影、録画は禁止

2部で質問を受け付ける

14:00

司会：名市大寄付講座 勝幡城から安土城へ

早い時間から並んでいただきありがとう

堤りさ

第1部 千田基調講演

第2部 パネリスト

2時間ほどを予定

名市大理事長 郡健二郎

郡：大学代表して一言

会場468名 いっぱいになった

セレクション 2000名応募 4.4倍 運がいい

千田先生 名著100名いただける

20倍の方 当たる 運のいい方がいる

本をもらわなくても 貴重な運を使い果たさないように

本屋に行って自分で買って

なぜ名市大が千田先生をお招きしたのか

副市長 松雄さんがご尽力

名古屋市とコラボ なぜ寄付講座

どのような国盗り物語をしようとしているのか 未来に歩むのか

ご協力して

名前知っている人 手を挙げて

名市大の名前知っている人

千田 468/470

名市大 460名 10名足りない

千田ファン 東京、大阪から来た？

名市大 この地域では根付いてきたが、地方では轟いていない

東京「名市大の郡」→「名刺じゃないの？」「明治大学」

どうする名市大 全国区の有名な人をお招きしよう

地域に若干貢献してきた

日経地域貢献度ランキング 2年ごと

昨年 800大学全国1位

国連 SDGs 取り組みタイムズハイヤーエデュケーション

医療と福祉部門 世界で7位、日本で1位

2年前 大学病院 3つ→5つ ベッド2200

全国国公立病院 1位

桜山キャンパス 救急災害棟を建設 日本1

地震、台風が来ても手術、出産ができる

全国区ではない 即戦力が欲しい→千田先生 歴史大ファン

同床異夢→異床同夢

尾張は城で持つ

3英傑に倣いながら4英傑になりたい

司会：基調講演

千田特任教授から

1986年奈良大学卒業 学芸員 教授→奈良大学学長

9月から特任教授として着任予定

城歩き 日本の城辞典 講演、テレビ出演等多数

千田：こんなに多くの人ありがとう

パネルディスカッションがメイン 前座として話す

郡理事長 3人英傑 それぞれにかかわって新しい時代を作った

4英傑として名市大が入ってくる

信長のことを中心に話す

たくさんの城があった

清須城、那古野城など

信長が生まれた勝幡城

1533年 山科言継と飛鳥井雅綱

けまりの大家

山科日記 使っていないすごい御殿

美しい月 橋の上で宴会

けまりの後お風呂に入る

重臣平手政秀の座敷が素晴らしい

勝幡城は？ 真ん中を日光川 江戸時代が掘削

江戸の初めに現地調査絵図

実態は館の周りに土手をつくり、周りに堀

戦国時代尾張 たくさんの城→館か館城

各地で山城 時代の最先端より伝統的

信長の城ライフが始まる

現状は日光川が流れている 大事な城ではないのか
多分関心を持っている 現地を訪ねて堀が、石垣が体感、実感したい
適度に身体を動かして健康
長生きしても健康じゃないと
城歩きは大変じゃない
走る間賢くなるか？ 城は適度な運動 行く前、行った後勉強 賢くなる
戦国時代 決断力が身につく
21世紀戦国時代か？ 厳しい
決断の連続 きしめんかラーメンか
城好き たちまちにして「今日はきしめんだ」
身体は元気、決断力がつく、生き生きと暮らせる
激戦を勝ち抜いた方 知性派の人ばかり
現地行っても日光川が見られるだけ
日進市藤島城 たんぼ 石碑があるだけ
発掘されていないから研究できない
資料があって研究→だれかが調べている
難しいところが研究
1947年 米軍航空写真
1884年 地租改正 地籍図
四角い館の形 研究がちゃんとしていく
勝幡城 1944年米軍写真 日光川
稲沢市、愛西市はなくなったとしているが、
重要部分が残っている
復元イラスト
信長 清州城城主に
信長の時代 館がいっぱい 惣がまえ
町人も一緒に防衛
1572年 町人も討ち死に いざとなれば武器をとる
能登 七尾市 畠山氏 能登府中
黒がはたけ
信長 桶狭間の後、斯波氏を追放
小牧山城 1563年-1567年 信長の本拠
国の史跡 1927年 中心部は発掘されていなかった
20年ほど前から小牧市が調査 考古学調査
小牧山城 美濃攻めのため？
→すごい石垣 最先端の石垣
一度に高い石垣を作れない 3メートル+帯状+次の段

栗石層も作られている
復元画 御殿を構えて暮らしていたのでは
大手道 麓からまっすぐ 本丸に近づくとジグザグ
石垣が見つかった ジグザグ
自分だけ石垣を独占
中腹から山麓 石垣がない 家臣とは差をつけた
地形、石垣、求心的城郭構造による信長を頂点とした階層化
城☆本丸、二の丸、三の丸
信長の城から始まっている
清州城、畠山府中 殿様中心になっていない
小牧城下町
「小牧は本格的な城ではなかった」
遺跡＝「埋蔵文化財包蔵地」が行政が認定しないと調査・保護の対象にならない
もっと研究すれば、遺跡があるかも
司馬遼太郎 国盗り物語 小牧5行しか載っていない
若き日の千田「大事な城下町があったのでは？」
明治時代地籍図 手でトレース
田んぼやはたけ 中鍛冶 御園 名前がついている
長方形の形 短冊形
京町家の敷地 うなぎのねどこ
1986年ごろ論文を出した 小牧市役所からめちゃくちゃ怒られた
17-8年後に発掘
全部城下町が出てきた
計画的な新しい都市が作られていた
赤っばいのが道路
敷地 うなぎの寝床
日本の都市の歴史
奈良の平城京 都市が始まる
条坊制 真四角の道路
築地 堀が回っている ウィンドウショッピングできない
11世紀 中世 中央の空き地
真四角正方形 真ん中に巨大な空き地
戦国時代まで続く 真ん中スカスカ 洛中洛外図
1963年 空地一切なし 長方形街区+短冊形地割
全国に波及 秀吉が京都大改造 作り替える
「京都すてき」→小牧
長方形街区 小牧

大和郡山城
小京都連合会 ほとんどが城下町由来
×小京都
○小小牧
都市 近世の城下町 主要都市網の原型
岐阜城 高い山 今はロープウェイ
信長の家族 山のふもとに住んでいた？
ルイス・フロイス
山のふもと
翌日 山城へ招待 山の上で住んでいた
圧倒的隔絶した世界に住んでいる
安土城 山の上の城 天主を作る
当初直線、その後ジグザグ
小牧山城と同じつくり
信長はぶれない
外柵形
天主が建っていた
がれきの山 本能寺の後に焼け落ちる
考古学研究者幸せ 焼けたまま
天主の瓦 赤いのは壁土
取り除いた 地面 礎石 基礎が 柱の痕跡
長長細い建物が建っていた
加納永徳に絵を描かせた バチカン行方不明
模写した 絵心がない人
懸け造り 手すり
CG
備中松山城天守 段石垣 長細い建物
安土城も同様では？
安土城天主の瓦
唐人一観 奈良の瓦
しゃちほこ鯨とひれう飛龍
昇り龍、降り龍
内モンゴル 白塔 降り龍
紫禁城 龍がかぶっとしている
沖縄 首里城正殿 15世紀までに成立 龍がかぶっとしている
安土城 龍
シャチは日本オリジナル

日本版最高の靈獣 シャチ
名古屋城金のしゃちほこ
城の上にしゃち 安土城からはじまった
天の意思を地に 市民の意思を天に
天とつながった特別の街 そのために金シャチがある
ここまで
パネルディスカッション

15:02

司会：会場 ステップニコニコ
千田先生は小走りで帰っていった
15分ほど休憩
パネルディスカッション 質問を受け付ける
ロビーの回収ボックスに入れて

15:15

司会：まもなく再開
飲食遠慮 禁煙 携帯、スマホはマナーモード
報道機関を除き写真撮影、録音、録画は禁止

15:20

司会：パネルディスカッション
登場
パネリスト 千田、吉田一彦、原史彦
コーディネーター 伊藤恭彦

伊藤：パネルディスカッション
なごや学研究センター
なごやの歴史を勉強しよう 意義、質問 150通
なごや学 ご期待

吉田：特任教授 歴史学 古代史、中世史
日本文化史 なごや学 定年退職後特任教授
高校と大学の橋渡し
千田先生 多数の著書 会場に持参
織豊系城郭 専門書 主著
信長の城 岩波新書 関係する話

原城と島原の乱 天草四郎 発掘に携わった
名市大にお迎え 大きな喜び
学生、名古屋市にとって意義がある
各地で地域の歴史、文化見直し 明治維新から150年
センターを拠点に発信
これまで名古屋学 研究が深まることを期待
名古屋の自画像が明らかに
城郭考古学 造語
高校生、大学生代弁 「城に興味を持ったのか、どうやって研究者になったか」

原：名古屋城調査研究センター

そんな施設があるのか？プレハブである

できて5年目 特別史跡

あれだけの規模 二之丸庭園 専門家がいらないとはなにごとか

千田先生が名古屋市をしかった

20人程度

名古屋城南 義直ゾーンの南 名古屋城博物館を作る予定

へーと言われると、知名度が低い

千田先生に入ってもらう

名古屋城発信できればいい

「名古屋城ごときで終わっていいのか？」

日本の総合的な博物館を作る」

「世界の城をやれ」

名古屋から全世界に発信せよ

名古屋城の整備、新しい博物館

先生に期待すること 小牧山城 ただの砦→ちゃんとした都市計画

千田 1989年に発表された

社会人になってはじめて こんな画期的なことがあるのか

ときどき変なことを言う

通常言われていないことをぼろっという

小早川秀秋 はじめから裏切っている

関ヶ原追い出して

織豊系城郭 「織豊系」千田先生

さりげなさ どこまで気づいているかわからないが

考えていないことをさりげなく

名古屋城にとっても、こういった

定説、当たり前をかえてくれるのではないか

伊藤：「名古屋から世界へ」私たちのスローガンにしたい
10代から質問

千田：結婚式披露宴以来のお褒めの言葉

城を好きになったきっかけ

中学1年 名古屋の中学 誤解 大人宣言

夏休みに自分たちで旅行 小豆島、淡路島に行く

どこの寺、海岸

新幹線 姫路に降りる

姫路城が見えた ノーマーク

駅に降りたら見える 本物であるらしい 何という素晴らしい

大人なら船を遅らせばいい

行けなかった姫路城どうなっているか

桜山 図書館調べ始めて

駅降りて1分あるかどうか 心から感動した

青色発光ダイオード？

「城郭考古学者」造語

中1から城好き 藤井そうたと同じ 受験がなかった

週末城に行く

現地 城跡が残っている

考古学 古墳時代、縄文時代

「中世は考古学ではない」

無理、やめろ 勉強した

考古学 土器の実測図

古文書の読み方教えてもらえない

絵図地図 教えてもらえない

単位にはならない 史学科、地理学

自分自身でカリキュラム

名古屋市 よく学芸員で取ってくれたな

大学 なにないの学部、学科 専攻に安心

なにが明らかにしたいか

すぐ横に卓越した先生がいる 資料もある

いかに自主的に勉強するか

専門性を高めるか

若い皆さんには

伊藤：吉田、原さんに一言

原：私は尾張徳川家につかえていた
勝幡城を壊した尾張藩
記録を残したのは1割
道具 1割
両方残っているのは尾張家だけ
残りすぎている
一人でやるには膨大
調査研究センター 何代にもわたってやる
尾張 資料が豊富
戦国、その前 いろんなことがわかる
意外と気づいていない
気づこうと思えば気づける
最終的にはセンス やり続ければ
尾張 恵まれている
こういった分野に興味があればぜひ
千田先生アドバイザー

吉田：名古屋 貴重資料がある
大須観音真福寺 国宝文庫
古代中世宗教史 豊富な資料
七つ寺 重要文化財一切経
世界で七つ寺にしかない経
とても重要
蓬左文庫 名古屋城 資料群
歴史、文化に関心がある 少なからずいる
大事 若い世代に専門家研究に進んでもらえたら
江戸時代の再評価 進んできた
地方分権の時代 権力が分散
世界史的に見ても諸外国と戦争しない 平和の時代
文化もとても栄えた
名古屋はその一つ
賑わい 狂言絵巻 本町通
若い世代 関心を持ってもらいたい
自分もやってやろう 若手を期待したい

伊藤：150質問 今後書籍で
時間がないが ちびっこから大学生
10代 先生の一番好きな城は
丸亀城に行った

千田：好きな城 答えに困る 好きじゃない城がない
安土城、熊本城 感動する
いつか行ってみて

原：名古屋城と言ってください

千田：なんといっても名古屋城
すばらしい

伊藤：安土城大手道 防御力が低いのでは？
天主ははじめてか
熊本城地下通路はなんのため？

千田：城郭研究は安泰
大手道 特徴 城は高い石垣が城
回りは家臣の屋敷地
自分のところは守る 屋敷地は守りの力発揮しなくても
山麓から全部守るか？しなかった
安土城大手道 ちょうど天守がそびえている
象徴的な道の作り方
天主 だいたい最初と書いてるがウソ
畿内 天主 いろいろ立っている
細川ふじたか
明智光秀 坂本城
御殿の延長上
御殿の発展形+軍事 瓦で葺く 融合
屋根は檜皮、こけら
象徴的なのは勝竜寺城 細川ふじたか
格式高い空間が天主
再定義が行われた
熊本城地下道
本丸御殿 いったん公開されていない

御殿の地下通路をとおってこんにちは
加藤清正がやりすぎた
徹底的に守りの強い
本丸の中に堀を掘る
本丸御殿建てる場所がない
またいで御殿を建てた
江戸時代 手狭
細川 地震が怖くて1年のみ 場外に屋敷を作って

伊藤：関ヶ原
玉城という城 新設
千田先生の唱えた説
大河ドラマ

千田：知性派のみ集まっている
玉城 理解を変える城ではないか
関ヶ原布陣図 西南北に布陣
さらに西
古くから知られていた 南北朝の城？
古文書、藪をかけ分ける
レーザー光線 地形をわかる
上空写真 木が生えている 地図ではわからない
レーザー光線 地面に当たったデータ 地形がわかる
こたつに入りながらわかる
戦国末期 地元の侍が作ったレベルではない
本丸だけで1辺200メートル
大坂城にいた毛利輝元、豊臣秀頼がくれば、
秀頼に向かって弓は引けない
ござどころ 本陣を作った
家康としては来れば確定
決断が勝利 機能することなく関ヶ原
これから再評価されるのでは

伊藤：小牧山城 背割り排水
文六慶長期 整備期まで
背割り排水 どこから手に入れたのか
熱田ではないか？

千田：専門的 わからない
背割り排水 計画的都市計画 間違いない
前に背割り排水 町割り 確認できていない
その後 全国的にたくさんある
まったく何もない？どこか先進的？熱田？に原型？
これから調査研究して明らかにすべき

伊藤：ぜひチャレンジして
最後全体を通じて名古屋を研究する
一言ずつ

原：台本にあったっけ？
油断していた
調査研究センター 日々 定説は必要
定説にどれだけ疑問を持てるか
どこかで矛盾 違う発想に切り替えられるか
やり切れているわけではない
歴史学に限ることではない
学びのサンプル なにがしかの疑問を持つ
学問が発展するのでは

吉田：さっき発言した
日本の各地 歴史を見直そう 進んでいる
京都 京都学積み重ね始める
妻のふるさと諏訪 神仏習合を研究
明治維新 廃仏毀釈 街の人が中心 特別拝観催し
諏訪学
なごや学研究センター 期待
他の研究機関を巻き込み 市民 歴史勉強したい人
自分たちの手で自画像を描けたら
千田先生大活躍するのでは

伊藤：名市大と歩んでくれるんですね

千田：パネルディスカッション
歴史って楽しい

小学校中学校高校 暗記

大学で歴史 より暗記ではなく、あらためて見つめなおして
文字、遺跡、絵図地図、お祭り、仏像

新たな真実を明らかにする 創造的な学問

城 名古屋城調査研究センター

最先端 よりよい形で整備 歴史を体感できる

研究して活かす 地域にとっての価値がある

魅力的な街に 歴史の研究が担う

先生方 名古屋 全国に広がった城 名古屋から始まっている
城跡が残っている

文字、絵図の資料が残っている

日本の城 侍文化を代表

世界の人にとって、名古屋、日本のすばらしさを体感できる

位置付け かっこたるもの

名市大近世名古屋学研究センター

名古屋城調査研究センター

名古屋市博物館、蓬左文庫

多くの皆様と市民で実現したい

どうぞよろしく

伊藤：ありがとう

時間 千田先生を中心に名古屋の研究発展を

名古屋城だけでなく名市大のことをもっと好きに

司会：ありがとう

素敵なステップで

最後に

学長 浅井清文

浅井：学長

千田先生 近世なごや学 開設記念連続講座の第1回目

いかがでしたか

2時間あっという間

千田先生魅了 もっと聞きたい

連続講座 来年3月まであと2回

内容が決まったらアナウンスする

次はもう少し大きな会場で 4倍にならないように

理事長 ホッチキス止めの紙 あたりの出た方100名
帰りに受付で著書を受け取って
千田先生 名市大中心に協力して文化調査して
お返ししたい
全国区になれるように
閉会のあいさつ

司会：あたり おめでとう
最新書籍を贈呈
簡単なアンケートも同封 ご記入を
回収ボックス
以上で終わり

16:11